

「これからの展望」

少子化が急速に進行している中で、安心して子どもを生み育てることのできる環境の整備や、社会全体で働き方の改革を通じた仕事と生活の調和の推進など、少子化対策をさらに効果的・総合的に推進していくことが求められています。これらの対策にあわせて、生命を次代に伝え育んでいくことや、家族の大切さ、家族を支える地域の力が国民に広く認識されることが必要です。

内閣府では、平成 19 年度から、11 月の第 3 日曜日を「家族の日」、その前後各 1 週間を「家族の週間」と定め、この期間を中心として「家族・地域のきずなを再生する国民運動」を実施しています。家族一人ひとりが個としての歩みを認め、促すことのできる心と心のつながり…“絆”を取り戻す本当の意味での「ゆとり・豊かさ」が求められています。



徳島新聞 1992.11.9 掲載



徳島新聞 1994.11.26 掲載



『ゆとり宣言』

近年、我が国の発展には目覚ましいものがある。とりわけ経済面においては国際的にも経済大国としての地位を確固たるものにしていく。

今後、我が国に求められるのは、人間性豊かなゆとりある社会の建設であり、そのためには、すべての国民が生活にゆとりを持ち、充実した自由な時間とうるおいのある生活を確保することが極めて重要である。

よって、徳島県議会は、ここに「ゆとり宣言」を行い、すべてに渡り健康に満ち溢れた新しい徳島づくりを目指す「健康県徳島の創生」を基本理念とし、すべての県民が豊かさを実感できるゆとりあるライフスタイルの定着を促進し、活力とゆとりに満ちた社会の実現を目指すものである。

右、決議する。

1990年3月19日 徳島県議会

ゆとり俳句・短歌・川柳コンテスト

◎毎年 11 月、広く県民の皆様から俳句・短歌・川柳を募集し、寄せられた作品は、それぞれの分野で活躍されている方々に選考委員となっただき、特選、入選、佳作の各賞を決定しています。

◎当初は「ゆとりフォト・俳句・短歌・コンテスト」としていましたが、応募者からの要望、各部門への応募数の多寡に伴い、1996年から川柳を加え、2006年からフォト部門を休止しました。

◎「ゆとり」や「家族」といったテーマに、毎年 100 句・首以上の応募があり、受賞作品は翌年のパンフレットで紹介されます。温かみのある作品、熱意の感じられる作品、お子さんの愉快な作品を味わうとともに、選後評を読むことも楽しみの一つです。

選者紹介

〔俳句〕 小野ゑみ（1992～2007）、山本花子（2008～現在）

〔短歌〕 松並武夫（1992～現在）

〔川柳〕 井上 博（1996～現在）



NPO・ボランティア支援

【これまでの実績】

これまで地域や中央で活躍している NPO・NGO、市民団体・行政等との情報・意見交換、各団体交流を実施し「地域力再生」を目的に協働事業に取り組んできました。

1. 創ろう協働！生み出せ活力！！

- (1) と き 2006 年 9 月 16 日（土）13：30～
- (2) 場 所 徳島県立総合福祉センター 5F
- (3) 主 催 （財）さわやか福祉財団・
（社）徳島県労働者福祉協議会・
日本労働組合総連合会徳島県連合会



2006.9.16 創ろう協働！生み出せ活力！！

2. 地域共生・協働研修会

- (1) ステップ1 2010 年 2 月 10 日（水）（学び・気づきあい）へのご参加
- (2) ステップ2（フィールドワーク）

NPO 同士ネットワークしながら、労働団体や労働者福祉事業団体と地域共生・協働の気づきやきっかけづくりを行い、団塊世代・シニア等の地域活動参画を促すフィールドワークを実施しました。

- (3) 主催 NPO 法人地域創造ネットワーク・ジャパン

3. NPO 便利屋マニュアル説明会

- (1) と き 2010 年 9 月 22 日（水）10：00～12：00
- (2) と ころ 労福協会議室 2F
- (3) 主 催 NPO 便利屋推進委員会



2010.11.13 いま「協同」を拓く 2010 全国集会（香川）

4. いま「協同」を拓く 2010 全国集会 in 四国

《徳島集会プレ企画》

- 日 程 2010 年 9 月 18 日（土） 10：30～16：00
- 場 所 佐那河内保健センター（佐那の里隣）

【移動うたごえ広場】【みんなでつくろう地域を支える仕事おこし】

《いま「協同」を拓く 2010 全国集会 in 四国》

- 日 程 2010 年 11 月 13 日（土）・14 日（日）
- 場 所 高松 サンポール 参 加 者 1,300 名

「つながり」を希望の絆に四国から発信しよう！～生命が育ち、『地域』と『公共』を拓く協同の力～のスローガンのもと「2012 年国際協同組合年につなげていこう」と今回 14 回目となった集会に、共同代表の久積育郎徳島県労働者福祉協議会会長が実行委員を代表して主催者挨拶。「新しい公共」のあり方を考える全国集会となりました。

5. うたごえ広場

2010 年 12 月で 21 回目となり、2 年が経過しました。毎月第 3 土曜日 10：30～12：00 わーくびあ徳島 5F、参加費 500 円で開催しています。

【これからの展望】

今後も私たちは、地域の課題を解決していくために、利益の追求ではなく、社会的な使命（ミッション）の実現として、「働くこと」を地域の大きな課題と位置づけ、行政機関や NPO・ボランティア団体・市民団体と拡く連携し、市民に喜ばれ・支えられる「地域力再生」の輪を拡げる活動を展開していきます。



うたごえ広場

反-貧困徳島の取り組み

[これまでの実績]

日本の社会で急速に格差と貧困が拡大しています。労働分野においては、行き過ぎた規制緩和によって、非正規労働者はいまや全労働者の3分の1、いくら働いてもまともな暮らしができない「ワーキングプア」と呼称される人が激増し、最後のセーフティネットと言われる生活保護制度についても、さらなる保護基準の切り下げが検討されています。そういった動きに対し2008年から以下の活動に取り組みました。

2008反-貧困全国キャラバンin徳島実行委員会

[実行委員会団体]

- 徳島県司法書士会
- 徳島県社会福祉士会
- 日本労働組合総連合会徳島県連合会
- 社団法人徳島県労働者福祉協議会
- 徳島県勤労者福祉ネットワーク



[協賛団体]

- 新しい自立化支援塾代表
- ストップDV・サポートの会
- 徳島キャラバン 8月25日(月)
高知から引き継ぎ県・市の自治体へ要請
- 徳島駅前行動 街宣・ビラまき
- 「医療・福祉・仕事まちかど相談」
「多重債務・生活保護相談」
- 反-貧困全国キャラバン2008とくしま集会



2009反-貧困全国キャンペーンin徳島実行委員会

- 自治体へ要請
- 多重債務・生活保護なんでも相談窓口開設
賀川豊彦献身100年記念「県民フォーラム」の一環として併設
- 年越しなんでも相談 ～生活保護・労働・多重債務何でも相談会～
2009年12月20日(日) わーくぴあ徳島

もちつき・おもち500個を相談者に進呈(協力：白鳳会労働組合)し、不要になった防寒着の提供を依頼(約40着集約)。相談件数は12件(来所7件、電話5件)。

